

日本バーチャルリアリティ学会

No.	訂正年 刷		頁	訂正箇所	誤	正
1	2012	1刷まで	p215	6.2.1 (1) 6行目	だんだん小さくしていくと	だんだん大きくしていくと
2	2012	1刷まで	p324	図8.2.1.1の左上	EOC	ECG
3	2013	1刷まで	p303	図7.2.9.4の1行目	地理空間IT社会。	地理空間IT。
4	2013	1刷まで	p309	13行目	素粒子まで、	電子まで、
5	2013	1刷まで	p311	参考文献 2)	Wile (2005)	Wiley (2005)
6	2013	1刷まで	p324	図8.2.1.1の左上	EOG	ECG
7	2016	6刷まで	p47,p49	本文中複数	班	斑
8	2016	6刷まで	p57	5行目	軸策	軸索
9	2016	6刷まで	p64	5行目	パラダイムをに	パラダイムに
10	2016	6刷まで	p120	7行目	する重要	することが重要
11	2016	6刷まで	p122	9行目	モデルを	モデルが
12	2016	6刷まで	p142	16行目	速度を	速度の
13	2016	6刷まで	p157	1行目	総称としてを	総称として
14	2016	6刷まで	p248	17行目	との密接	と密接
15	2016	6刷まで	p280	6行目	下前	下膳
16	2016	6刷まで	p309	11行目	1 分 の 1 0 の 2 4 乗	1 0 の 2 4 乗分の 1
17	2016	6刷まで	p332	図8.2.3.3	外側腓状体	外側膝状体
18	2016	6刷まで	p343	2行目	や)	か)
19	2020	10刷まで	p77	14行目	Near-infrared spectroscopy	Near-infrared spectroscopy
20	2022	11刷まで	p154	4行目	Iterative Closest Point	Interactive Closest Point
21	2022	11刷まで	p325	6行目	副交感神経の活動が減少する	副交感神経の活動が増加する
22	2022	11刷まで	p25	4行目	一次体性視覚野	一次視覚野
23	2022	11刷まで	p28	1行目	組み合わせ	組み合わせ
23	2023	12刷まで	p 48	10行目	逆方法に起こり	逆方向に起こり
24	2023	13刷まで	p 68	図3.1.2	震動子	振動子
25	2025	14刷まで	p181	14行目	Hardyman	Hardiman
26	2025	14刷まで	p181	15行目	1秒間に時速約2.7kmで歩く	時速約2.7kmで歩く
27	2025	14刷まで	p188	13行目	のシスム構成法	のシステム構成法
28	2025	14刷まで	p194	29行目	その火屋に送った	その火星に送った
29	2025	14刷まで	p252	図7.2.1.2	SMI管理	SIM管理
30						
31						

以上